第8回 日本アレルギー学会 東北地方会

The 8th Annual Meeting
of the Japanese Society of Allergology
Tohoku Regional Association

会　期　2026年11月14日(土)

会　場　東北医科薬科大学福室キャンパス
教育研究棟3F プラタナスホール

会　長　玉田 勉（東北医科薬科大学呼吸器内科）



プログラム・抄録集









日本アレルギー学会東北支部主催

第８回日本アレルギー学会東北地方会
プログラム・抄録集

会 長

東北医科薬科大学 医学部内科学第一（呼吸器内科）教授

玉田 勉

■一般演題	一般演題Ⅰ	9時25分～10時05分
	一般演題Ⅱ	10時35分～11時10分
	一般演題Ⅲ	13時40分～14時15分
	一般演題Ⅳ	15時20分～16時00分
■教育講演	教育講演Ⅰ	9時00分～9時25分
	教育講演Ⅱ	10時10分～10時35分
	教育講演Ⅲ	13時15分～13時40分
	教育講演Ⅳ	16時00分～16時25分
■共催セミナー	教育セミナー①	11時15分～12時10分（オンライン講演）
	ランチョンセミナー	12時15分～13時10分
	教育セミナー②	14時20分～15時15分（オンライン講演）

■日　　時：　2026年11月14日（土）

■会　　場：　東北医科薬科大学福室キャンパス 教育研究棟３階 プラタナスホール
〒983-8536 仙台市宮城野区福室1-15-1

■参 加 費：　会　員　1,000円
非会員　2,000円
(当日受付でお支払いください)
※医学生・看護学生（大学院生を除く）・コメディカル・初期研修医は無料

地方会事務局

東北医科薬科大学呼吸器内科
〒983-8536　宮城県仙台市宮城野区福室1-15-1

ご挨拶

第８回日本アレルギー学会東北地方会
会長　玉田 勉
（東北医科薬科大学 医学部内科学第一（呼吸器内科）教授）

謹啓　会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本学会の運営およびアレルギー学の発展に多大なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、2026 年 11 月 14 日（土）に、第８回日本アレルギー学会東北地方会を、仙台市の東北医科薬科大学プラタナスホールにおいて開催させていただく運びとなりました。伝統ある本地方会を主宰いたしますことは、大変光栄であり、身の引き締まる思いでございます。

11 月の仙台は、定禅寺通りのケヤキ並木が鮮やかな黄金色に染まり、深秋の美しさが最も際立つ季節を迎えます。澄んだ空気の中、杜の都が育んできた文化と、当館の象徴である「プラタナス」が皆様を温かく迎えてくれることと存じます。

本地方会は、東北地方におけるアレルギー疾患の診療・研究のレベル向上、そして次世代を担う若い先生方の育成と交流の場として、極めて重要な役割を果たしております。今回も、基礎から臨床に至るまでの幅広い演題を募り、日頃の研究成果の発表だけでなく、日常診療に直結する活発なディスカッションが行われる場にしたいと考えております。

会場となる東北医科薬科大学福室キャンパスは、医学部創設 10 周年目の節目を迎えます。教育研究棟３階にあるプラタナスホールは、広さ、快適さはもちろんのこと、参加者の皆様が一体感を持って議論に没頭できる素晴らしい環境が整っております。

当日は学会懇親会も企画しております。学術的な刺激に満ちた時間の後は、仙台の豊かな秋の味覚や温泉など多くの皆様に体験していただければ幸いです。

末筆ではございますが、会員の皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、一人でも多くの皆様のご参加を、教室員一同、心よりお待ち申し上げております。

謹白

座長・演者の方へのご案内

座長へのご案内

・ご担当セッション開始 15 分前までに会場内の次座長席にてお待ちください。
・教育講演の発表時間は発表 25 分（質疑応答含）です。
・一般演題の発表時間は 8 分（発表 6 分・質疑 2 分）です。
・所定時間の 1 分前で黄色ランプ，終了時に赤色ランプでお知らせいたします。時間は厳守いただくようお願いいたします。

演者へのご案内

■発表形式について

・利益相反（COI：Conflict of Interest）の開示が必要です。
・ご発表の際には，演題名に続き 2 枚目のスライドでご提示ください。
・申告様式については日本アレルギー学会ホームページよりダウンロードが可能です。「利益相反（COI）指針」ページ（下記 URL）をご覧ください。
https://www.jsaweb.jp/modules/about/index.php?content_id=69
・全ての発表は Microsoft PowerPoint によるプレゼンテーションとなります。スクリーンは 1 面投影です。
・ご発表の際には，データ持込，PC 持込のいずれの場合も，演題にセットされているキーボードとマウスをご使用ください。
・プログラムの円滑な進行のため，発表者ツールの使用はご遠慮ください。
・患者個人情報に抵触する可能性のある内容は，患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得たうえで，患者個人情報が特定されないよう十分留意してご発表ください。個人情報が特定される発表は禁止いたします。

■発表時間について

・指定演題の発表時間はセッションごとに異なります。詳細は個別にご案内いたします。
・一般演題の発表時間は 8 分（発表 6 分・質疑 2 分）です。
・所定時間の 1 分前で黄色ランプ，終了時に赤色ランプでお知らせいたします。時間は厳守いただくようお願いいたします。

■発表データについて

・セッション開始時間の 30 分前までに発表スライドの受付を済ませ，15 分前までには会場内次演者席にて待機してください。
・PC 持込の場合も必ず PC 受付にてスライドの試写を行ってください。

PC 受付

場所：東北医科薬科大学 福室キャンパス 教育研究棟 3 階プラタナスホールホワイエ
開設時間：2026 年 11 月 14 日（土）8 時 30 分～ 16 時 00 分

■データ持込の場合（Windows のみ）

下記の要領にて発表データをご作成ください。

OS	Windows 11
アプリケーション	Microsoft PowerPoint ※ macOS の PC で作成したデータでご発表される場合は，念のため macOS の PC をお持ちください。
受付メディア	USB フラッシュメモリ
画面比率	16:9
フォント	画面レイアウトの乱れを防ぐため，Windows に標準インストールされているフォントをご使用ください。標準フォントは，Microsoft 社のサイトをご確認ください。
ファイル名	発表データのファイル名は「セッション名もしくは演題番号（半角）演者名」としてください。

※動画や音声が含まれる場合は，念のためご自身の PC をお持ちください。

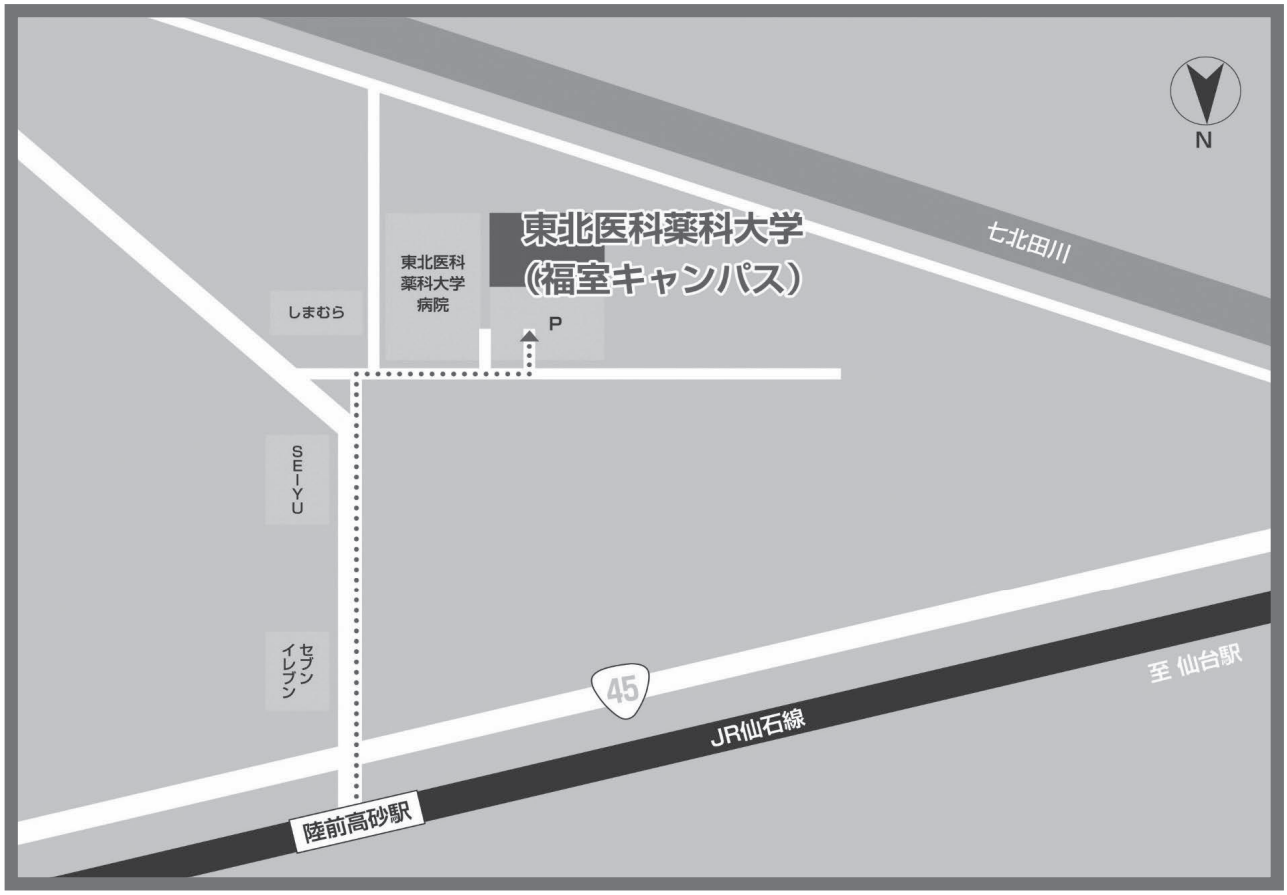
■ PC 持込の場合（Windows，macOS）

・動画を使用する場合には，念のためご自身の PC をお持ちください。
・iPad 等のモバイル端末での発表はできません。
・お持ちの PC でデータの再生ができることを事前に必ずご確認ください。
・会期中，PC 受付にて外部出力モニターに接続のうえ，動作確認を行ってください。
・映像機器との接続は HDMI コネクターで行います。お持ち込みいただく PC で HDMI への変換コネクターが必要な場合，ご自身にてご用意ください。HDMI 以外の接続はお受けできません。
・スクリーンセーバー，省電力設定，パスワードはあらかじめ解除してください。
・バッテリーでのご発表はトラブルの原因となりますので，必ず AC アダプターをご持参ください。
・バックアップ用データとして，必ず USB フラッシュメモリをご持参ください。

会場案内

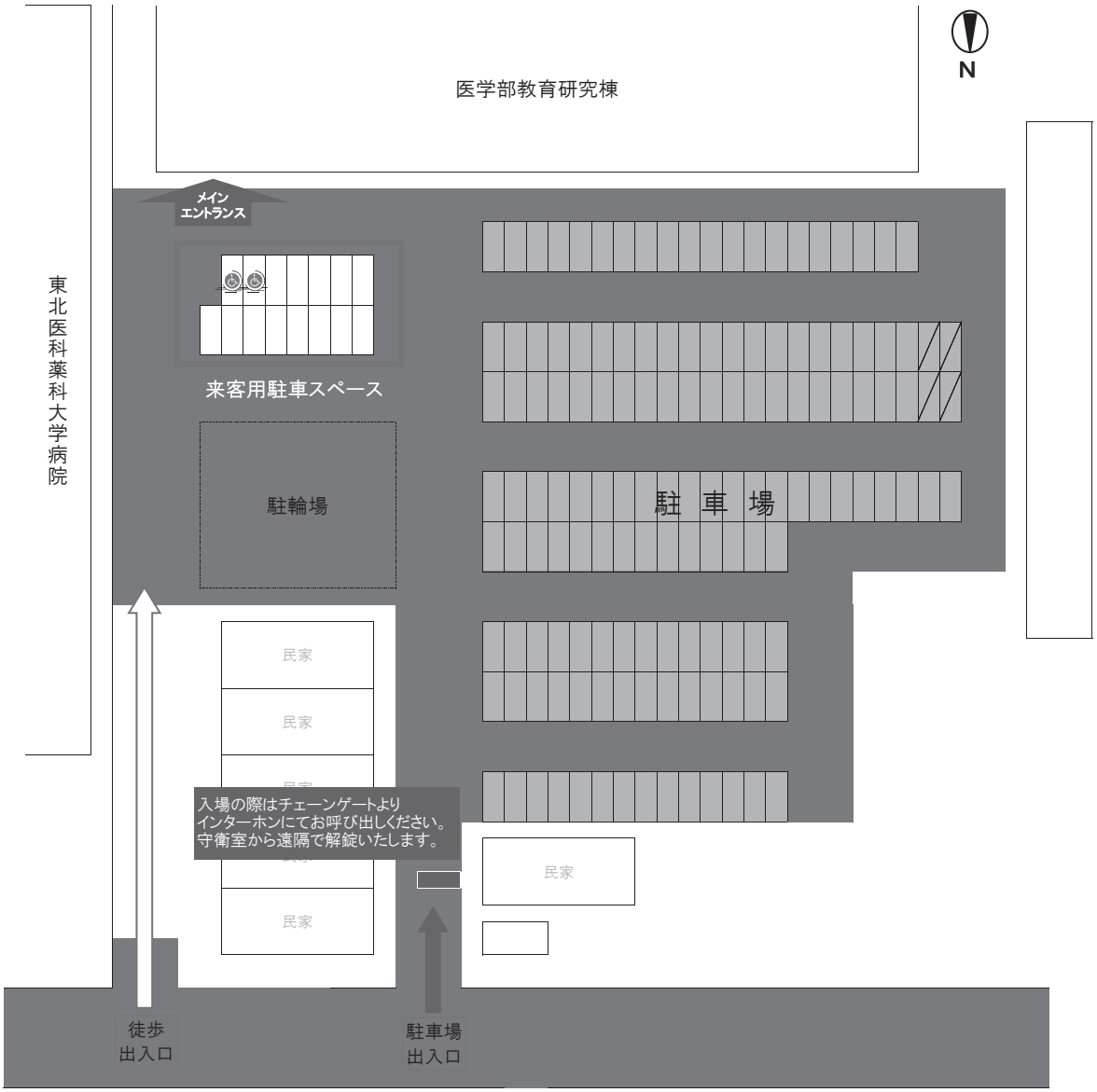
● 会場へのアクセス ●

東北医科薬科大学 福室キャンパス
〒 983-8536 宮城県仙台市宮城野区福室 1 丁目 15-1



東北医科薬科大学福室キャンパス　仙台市宮城野区福室1丁目15－1
【徒歩でのアクセス】 JR仙石線　陸前高砂駅下車(徒歩約7分)
【お車でのアクセス】 仙台駅方面から45号線を塩釜･石巻方面へ

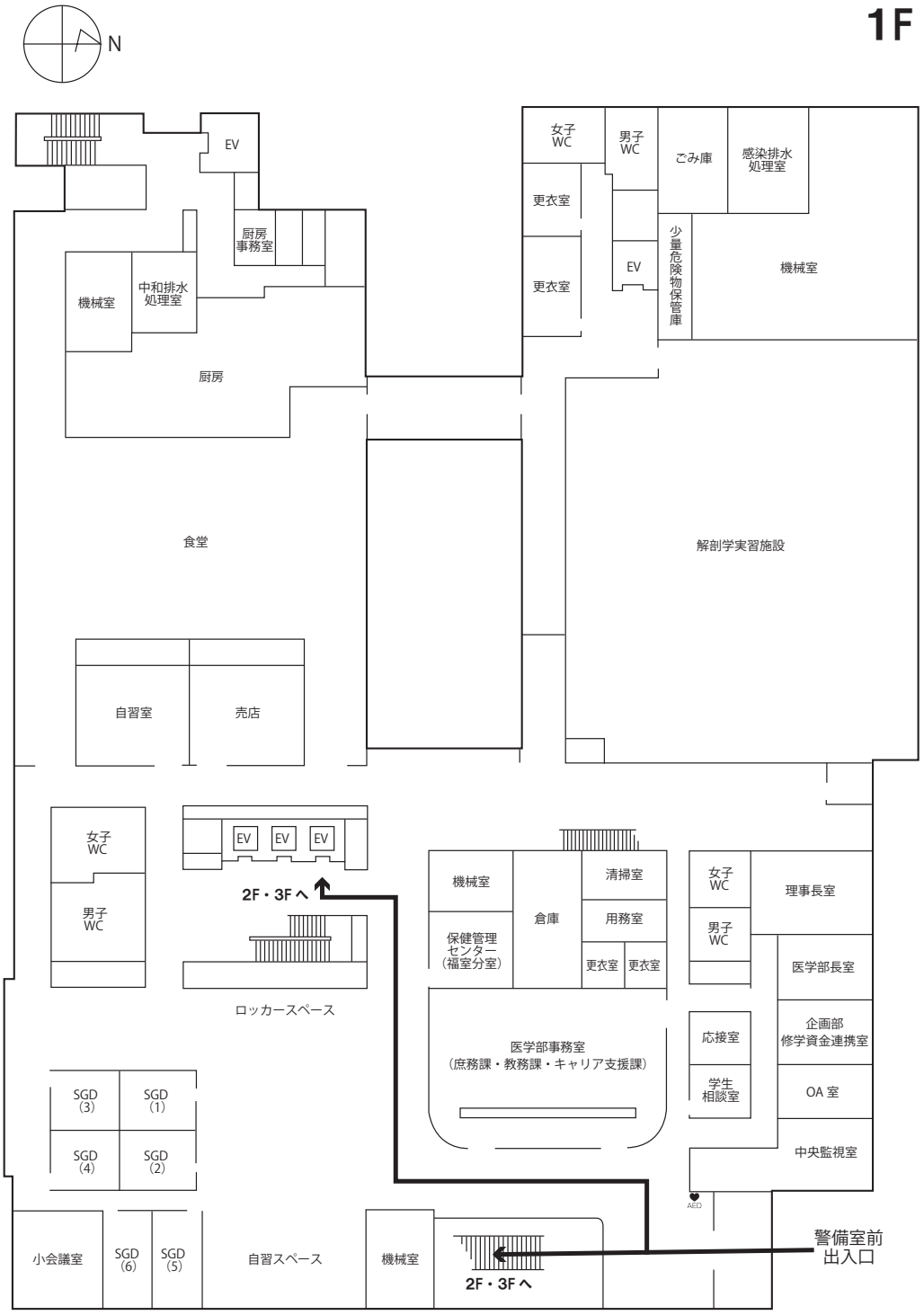
● 駐 車 場 ●



車でお越しの際には医学部教育研究棟前の駐車場（無料）をご利用ください。学会で手配した駐車スペースに限りがあります。満車の場合は、近隣の民間駐車場をご利用ください。なお、病院側の駐車場をご利用の場合は、通常の駐車料金をお支払いください。

●フロア図●

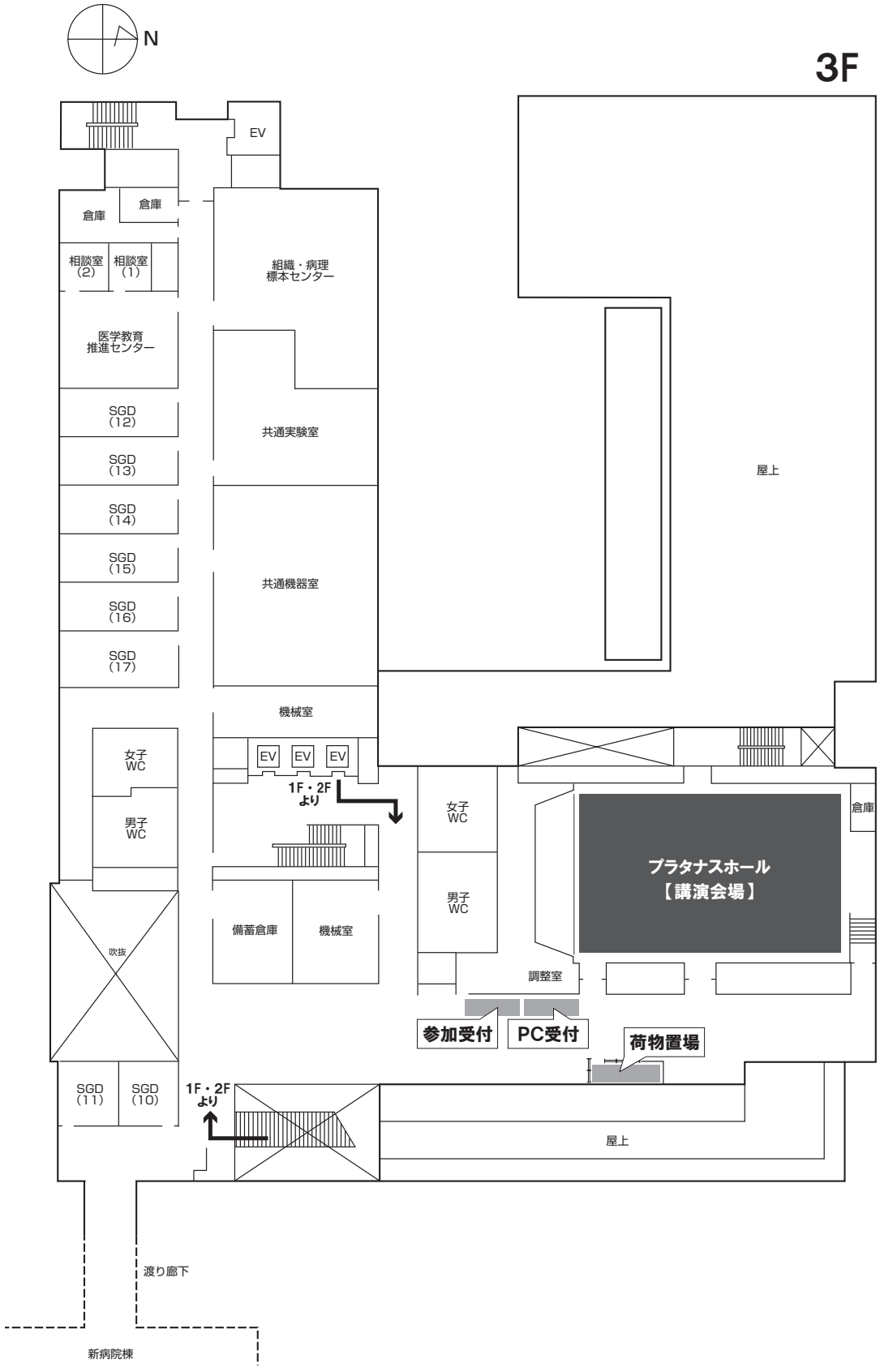
医学部教育研究棟①



1階に学会場はございません。階段またはエレベーターを利用して3階にお越しください。

●フロア図●

医学部教育研究棟③



参加者へのご案内

参加登録

受付場所：東北医科薬科大学 福室キャンパス 教育研究棟 3 階プラタナスホールホワイエ
受付時間：2026 年 11 月 14 日（土）8 時 30 分～ 16 時 00 分
参 加 費：会　員　1,000 円
　　非会員　2,000 円
　　医学生・看護学生（大学院生を除く）・コメディカル・初期研修医　無料
　　※ 1 . 学生証または証明書をご提示ください
　　※ 2 . 支払いは現金のみです。

参加証・参加費

当日、参加登録および参加費をお支払いいただいた際にお渡しいたします。

プログラム・抄録集

プログラム・抄録集の PDF 版を、事前にホームページに掲載いたします。
冊子版につきましては、当日参加受付にて配布いたします。

学会懇親会

下記の通り開催いたします。多くの方々のご参加をお待ちいたしております。
日　時：2026 年 11 月 14 日（土）16 時 35 分～
会　場：東北医科薬科大学 福室キャンパス 教育研究棟 1 階 食堂
参加費：無料　※参加証兼ネームカードを着用ください

優秀演題賞

優秀演題賞への申請を希望された演題の中から優秀演題を選出し、閉会式で発表いたします。

認定更新単位登録と取得できる単位数について

会場受付にて参加受講証をお受け取りください。
受講証を各申請機関へ提出し、各自で単位登録の手続きをお願いいたします。

【取得できる単位数について】

第 8 回日本アレルギー学会東北地方会において取得可能な単位は以下の通りです。
会場受付にて参加受講証をお受け取りください。受講証を各申請機関へ提出し、各自で単位登録の手続きをお願いいたします。

1）アレルギー学会専門医
▽発表（筆頭)、座長・講師：3 単位
▽出席：5 単位
【お問い合わせ先】
〒 110-0005　東京都台東区上野 1-13-3　MY ビル 4 階
　　一般社団法人日本アレルギー学会
TEL：03-5807-1701　FAX：03-5807-1702
E-mail：info@jsaweb.jp
HP：https://www.jsaweb.jp/

2）日本小児臨床アレルギー学会認定　小児アレルギーエデュケーター単位
▽参加：5 単位
〒 183-0023　東京都府中市宮町 1-24-8　キャッスル町田 202
　　一般財団法人日本小児臨床アレルギー学会　事務局
TEL：042-370-1797　FAX：050-3153-0675
E-mail：info@spca.jp
HP：http://jspca.kenkyuukai.jp/information/

3）宮城県栄養士会 生涯教育自己研鑽単位
▽参加： 2 単位

第 8 回日本アレルギー学会東北地方会

【会場：東北医科薬科大学福室キャンパス　教育研究棟 3 階　プラタナスホール】

時間	プログラム
8:30 ～	**受付開始**
8:55 ～ 9:00	**開会式　会長挨拶**
9:00 ～ 9:25	**教育講演 Ⅰ（小児科領域）** 『こどもだけじゃない FPIES（食物蛋白誘発胃腸炎）』 座長：北沢 博（東北医科薬科大学医学部小児科 講師） 演者：渡邊 庸平（仙台医療センター小児科）
9:25 ～ 10:05	**一般演題 Ⅰ（耳鼻科・皮膚科・小児科領域 5 演題）** 座長：鈴木 淳（東北大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授） 池田 高治（東北医科薬科大学医学部　皮膚科学教室 教授）
10:05 ～ 10:10	**東北支部長挨拶** 中山 勝敏（秋田大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座 教授）
10:10 ～ 10:35	**教育講演 Ⅱ　（耳鼻科領域）** 『好酸球性炎症疾患の残された難関・好酸球性中耳炎～生物学的製剤を含めた治療について～』 座長：太田 伸男（東北医科薬科大学耳鼻科 教授） 演者：高畑 淳子（弘前大学医学部耳鼻咽喉科 講師）
10:35 ～ 11:10	**一般演題 Ⅱ（呼吸器内科領域　重症喘息　4 演題）** 座長：鈴木 康仁（福島県立医科大学 呼吸器内科学講座 講師） 片桐 紘（岩手医科大学 内科学講座 呼吸器内科分野 助教）
11:15 ～ 12:10	**（オンライン講演）教育セミナー ①**　**共催：アストラゼネカ株式会社** 座長：杉浦 久敏（東北大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学分野 教授） 演者：福永 興壱（慶應義塾大学医学部呼吸器内科 教授・病院長）
12:15 ～ 13:10	**ランチョンセミナー**　**共催：グラクソ・スミスクライン株式会社** 座長：中村 豊（東北医科薬科大学 医学教育推進センター 教授） 演者：山田 充啓（東北大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学分野 准教授）
13:15 ～ 13:40	**教育講演 Ⅲ　（皮膚科領域）** 『皮膚から見た好酸球性多発血管炎性肉芽腫症』 座長：安達 哲也（東北医科薬科大学呼吸器内科 准教授） 演者：池田 高治（東北医科薬科大学医学部皮膚科 教授）
13:40 ～ 14:15	**一般演題 Ⅲ（基礎　4 演題）** 座長：山田 充啓（東北大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学分野 准教授） 竹田 正秀（秋田大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座 准教授）
14:20 ～ 15:15	**（オンライン講演）教育セミナー ②**　**共催：リジェネロン・ジャパン株式会社 / サノフィ株式会社** 座長：玉田 勉（東北医科薬科大学 医学部内科学第一（呼吸器内科）教授） 演者：松永 和人（山口大学医学部附属病院 病院長・教授）
15:20 ～ 16:00	**一般演題 Ⅳ（呼吸器内科領域　様々な肺疾患　5 演題）** 座長：井上 純人（山形大学医学部 医学教育学講座 教授） 森本 武史（青森県立中央病院 呼吸器内科 副部長）
16:00 ～ 16:25	**教育講演 Ⅳ（眼科領域）** 『アレルギー性結膜疾患の診断と治療』 座長：渡邉 亮（東北医科薬科大学眼科 講師） 演者：高橋 秀肇（東北医科薬科大学眼科 教授）
16:25 ～ 16:30	**表彰式　閉会式　会長挨拶**
16:35 ～	**学会懇親会**　**【会場：1 階食堂】**

【　特別プログラム　】

教育講演 Ⅰ（小児科領域） 9:00 ～ 9:25

座長：北沢 博　先生（東北医科薬科大学医学部小児科 講師）

こどもだけじゃない FPIES（食物蛋白誘発胃腸炎）

渡邊 庸平　先生（仙台医療センター小児科）

教育講演 Ⅱ（耳鼻科領域） 10:10 ～ 10:35

座長：太田 伸男　先生（東北医科薬科大学耳鼻科 教授）

好酸球性炎症疾患の残された難関・好酸球性中耳炎～生物学的製剤を含めた治療について～

高畑 淳子　先生（弘前大学医学部耳鼻咽喉科 講師）

教育講演 Ⅲ（皮膚科領域） 13:15 ～ 13:40

座長：安達 哲也　先生（東北医科薬科大学呼吸器内科 准教授）

皮膚から見た好酸球性多発血管炎性肉芽腫症

池田 高治　先生（東北医科薬科大学医学部皮膚科 教授）

教育講演 Ⅳ（眼科領域） 16:00 ～ 16:25

座長：渡邉 亮　先生（東北医科薬科大学眼科 講師）

アレルギー性結膜疾患の診断と治療

高橋 秀肇　先生（東北医科薬科大学眼科 教授）

教育セミナー ①（オンライン講演） 11:15 ～ 12:10

座長：杉浦 久敏　先生（東北大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学分野 教授）

多様な喘息病態にアプローチをするためには～ TSLP を治療ターゲットとする意義～

福永 興壱　先生（慶應義塾大学医学部呼吸器内科 教授・病院長）
共催：アストラゼネカ株式会社

ランチョンセミナー　12:15 ～ 13:10

座長：中村 豊　先生（東北医科薬科大学 医学教育推進センター 教授）

重症喘息診療における治療目標と病態評価

中村 豊　先生（東北医科薬科大学 医学教育推進センター 教授）

重症喘息治療における新たな選択肢

山田 充啓　先生（東北大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学分野 准教授）
共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

教育セミナー ②（オンライン講演） 14:20 ～ 15:15

座長：玉田 勉　先生（東北医科薬科大学 医学部内科学第一（呼吸器内科）教授）

FeNO は上下気道診療をどう変えたか－炎症評価から治療戦略のアップデート－

松永 和人　先生（山口大学医学部附属病院 病院長・教授）
共催：リジェネロン・ジャパン株式会社 / サノフィ株式会社

AstraZeneca

第8回日本アレルギー学会東北地方会
教育セミナー①

開催日時　11月14日(土)　11:15～12:10

会場　東北医科薬科大学 福室キャンパス 教育研究棟
3F プラタナスホール
〒983-8536 仙台市宮城野区福室一丁目15番地1号

座 長　杉浦　久敏 先生
東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 呼吸器内科学分野 教授

多様な喘息病態にアプローチをするためには
～TSLPを治療ターゲットとする意義～

演 者　福永　興壱 先生
慶應義塾大学 医学部呼吸器内科 教授・病院長

共催：第8回日本アレルギー学会東北地方会 / アストラゼネカ株式会社

GSK

第8回 日本アレルギー学会東北地方会
ランチョンセミナー

日 時

2026年 11月 14日（土）
12:15～13:10

会 場

東北医科薬科大学 福室キャンパス
教育研究棟3F プラタナスホール
※ライブ配信・オンデマンド配信はございません

12:15-12:25

座 長
Keynote Speech

中村 豊 先生
東北医科薬科大学
医学部 医学教育推進センター センター長
大学院 医学研究科 免疫アレルギー病態学分野 教授

重症喘息診療における治療目標と病態評価

12:25-13:10

演 者

山田 充啓 先生
東北大学大学院医学系研究科
内科病態学講座呼吸器内科学分野　准教授

重症喘息治療における新たな選択肢

本講演会は、GSKが社内外の各種ルールを遵守して実施されていることを確認する目的で、
録画および録音を行います。予めご了承ください。

共催：第8回 日本アレルギー学会東北地方会 /
グラクソ・スミスクライン株式会社



第８回 日本アレルギー学会東北地方会
教育セミナー②

日 時 2026年 11月 14日 (土) 14:20～15:15

会 場 東北医科薬科大学 福室キャンパス 教育研究棟3F プラタナスホール
〒983-8536 宮城県仙台市宮城野区福室1-15-1

座 長 東北医科薬科大学医学部
内科学第一（呼吸器内科）教授 **玉田 勉** 先生

演 題

FeNOは上下気道診療をどう変えたか
－炎症評価から治療戦略のアップデート－

演 者
（オンライン登壇）

山口大学医学部附属病院 病院長
山口大学大学院医学系研究科 呼吸器・感染症内科学講座 教授
松永 和人 先生

共催：第8回 日本アレルギー学会東北地方会
リジェネロン・ジャパン株式会社 / サノフィ株式会社

E-0000033026

抄録集

一般演題Ⅰ　耳鼻科・皮膚科・小児科領域

座長：鈴木 淳（東北大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授）
　　池田 高治（東北医科薬科大学医学部　皮膚科学教室 教授）

O1-1 ハチ毒アレルギーの臨床的な検討

太田 伸男[1)]、北沢 博[2)]、池田 高治[2)]、高橋 秀肇[2)]、佐藤 輝幸[2)]、中村 豊[2)]、玉田 勉[2)]、大野 勲[2)]

1）東北医科薬科大学耳鼻咽喉科、2）東北医科薬科大学アレルギーセンター

ハチ毒アレルギーにより毎年 20 名が死亡し、林業、造園業、ゴルフ場や養蜂業従事者だけでなくアウトドアライフを楽しむ一般国民にとっても重要な社会問題である。しかし、ハチ毒アナフィラキシーの実態と病態についてはまだ十分検討されていない。ハチ毒アレルギー患者の血液中の総 IgE、ハチ毒、スギ、ヒノキ、ハウスダスト、ダニに対する特異的抗体価及について検討したところ興味深い結果を得たので文献的考察を含めて報告する。

O1-2 鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎に対する生物学的製剤の効果と副反応を踏まえた薬剤選択に関する一考察

佐藤 輝幸[1,3)]、西山 渉[2)]、中村 豊[3,4)]、北沢 博[3,5)]、池田 高治[3,6)]、大野 勲[3)]、玉田 勉[3,7)]、太田 伸男[1,3)]

1）東北医科薬科大学　医学部　耳鼻咽喉科学、2）東北医科薬科大学病院　研修医、
3）東北医科薬科大学病院　アレルギーセンター、4）東北医科薬科大学　医学部　医学教育推進センター、
5）東北医科薬科大学　医学部　小児科学、6）東北医科薬科大学　医学部　皮膚科学、
7）東北医科薬科大学　医学部　呼吸器内科学

鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎に対する生物学的製剤は，既存治療抵抗性の重症例や術後再発例を中心に導入が進んでいる．本邦では 2020 年にデュピルマブ，2024 年にメポリズマブ，2026 年にデペモキマブ・テゼペルマブが保険適用となり選択肢が拡充した．これに伴い，有効性のみならず副反応や患者背景を考慮した薬剤選択が重要となってきた．本発表は自験例をもとに各製剤の特徴と薬剤選択基準についての一考察を報告する．

一般演題Ⅰ　耳鼻科・皮膚科・小児科領域

座長：鈴木 淳（東北大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授）
　　池田 高治（東北医科薬科大学医学部　皮膚科学教室 教授）

O1-3 アレルギー性鼻炎をもつ医学部学生の学業成績―4 年間の縦断的検討―

佐々木 雅史[1)]、豊島 かおる[1)]、宮坂 智充[1,2,3)]、宍戸 史[1)]、有川 智博[1)]、福與 なおみ[1)]、亀岡 淳一[1)]、大河原 雄一[2,4)]、結城 美智子[1)]、佐藤 輝幸[2,5)]、太田 伸男[2,5)]、玉田 勉[2,4)]、大野 勲[1,2)]、中村 豊[1,2)]

1）東北医科薬科大学医学部医学教育推進センター、2）東北医科薬科大学病院アレルギーセンター、
3）Department of Medicine, Faculty of Health Sciences, McMaster University、
4）東北医科薬科大学医学部呼吸器内科、5）東北医科薬科大学医学部耳鼻咽喉科

医学部学生 100 名を対象に，アレルギー性鼻炎（AR）の有無と 1 年次から 4 年次前期までの学業成績（GPA）との関連を解析した．AR 群では 1 年次の GPA が非 AR 群と比べて有意に低かったが，2 年次以降は有意差を認めなかった．2 年次後期には AR を含むアレルギー性疾患について受診勧奨を行った．AR のような頻度が高く適切な介入が可能な健康問題が，特に医学教育の初期段階において学業成績と関連する可能性が示唆された．

O1-4 パッチテストユニットの違いによる陰性対照への反応の差異を認めた一例

池田 高治、笠松 衛、宮崎 健

東北医科薬科大学医学部皮膚科学教室

81 歳､女性。パッチテスター｢トリイ｣による金属パッチテストを施行したところ、陰性対照の生理食塩水で ICDRG 基準での？＋の反応をみた。追加施行した、水道水･蒸留水･他メーカー生理食塩水･家庭で使用中のミネラルウオーターのいずれも？＋の反応をみた。フィンチャンバーによるこれらの検査では全て陰性であった。パッチテストユニット間の陰性対照に対する反応の差異について独特な反応をみたと考え、報告する。

一般演題Ⅰ　耳鼻科・皮膚科・小児科領域

座長：鈴木 淳（東北大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授）
池田 高治（東北医科薬科大学医学部　皮膚科学教室 教授）

O1-5 学童期アトピー性皮膚炎患児に対するアドヒアランス向上を目指した介入～教育入院におけるスキンケア指導の実際とその効果～

佐藤 萌[1)]、阿見 由梨[1)]、北沢 博[2)]、阿部 聖[2)]、森本 哲司[2)]

1）東北医科薬科大学病院　看護学部、2）東北医科薬科大学　医学部小児科

10 歳代男児のアトピー性皮膚炎治療における教育入院の成果と退院後の課題を報告する．男児はスキンケア手技の習得を目的とした教育入院歴があったが，アドヒアランス不良，症状の悪化を認め再入院した．今回は，自宅でも継続可能なスキンケア方法の検討，指導を行い EASI が 32.3 から 9.5 へ改善した．しかし，退院 14 日後には EASI が 13.6 と悪化しアドヒアランス低下を認めた．退院後の治療阻害要因の評価と継続的介入の必要性が示唆された．

一般演題 Ⅱ　呼吸器内科領域　重症喘息

座長：鈴木 康仁（福島県立医科大学 呼吸器内科学講座 講師）
　　片桐 紘（岩手医科大学 内科学講座 呼吸器内科分野 助教）

O2-1 当科における重症喘息に対するデペモキマブ導入症例の検討

柳下 洪亮、鈴木 康仁、山田 龍輝、松島 天知、江川 哲也、熊中 貴弘、田中 竜太郎、風間 健太郎、齋藤 弘志、針金 莉奈、冨田 ひかる、渡邉 菜摘、梅田 隆志、東川 隆一、王 新涛、佐藤 佑樹、金沢 賢也、谷野 功典、柴田 陽光

福島県立医科大学　呼吸器内科学講座

デペモキマブは超長時間作用型抗 IL-5 抗体であるが，実臨床での報告はまだ少なく，当科でのデペモキマブ導入 7 例について検討した．好酸球性副鼻腔炎 3 例，好酸球性中耳炎 2 例，ABPM1 例を合併していた．6 例はメポリズマブ（4 例）またはベンラリズマブ（2 例）からの切り替えで，5 例は喘息コントロール良好であったが患者負担軽減を目的に変更した．1 例はコントロール不良と医療費負担を考慮し変更した．投与後経過について報告する．

O2-2 メポリズマブ投与により MPO-ANCA が陰性化し良好なコントロールを得られた EGPA の一例

相和 侑馬 [1)]、糸賀 正道 [1,2)]、當麻 景章 [1)]、田中 寿志 [1)]、牧口 友紀 [1)]、坂本 博昭 [1)]、秋田 貴博 [1)]、福島 高志 [1)]、小堀 由璃 [1)]、亀山 悠子 [1)]、布村 恭仁 [1)]、向井 峻太 [1)]、千葉 俊介 [1)]、福島 聖菜 [1)]、嶋中 拓弥 [1)]、澤谷 俊之助 [1)]、松丸 麗奈 [1)]、宮本 茉里奈 [1)]、田坂 定智 [1)]

1）弘前大学医学部附属病院　呼吸器内科，感染症科、2）福井大学医学部　感染症学講座

75 歳女性．54 歳で喘息発症し，56 歳時に下肢紅斑，神経障害，好酸球増多，MPO-ANCA 陽性を認め，筋電図所見等の結果を踏まえ好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) と診断された．ステロイドと免疫抑制薬で改善し，プレドニゾロン 5mg/ 日で管理された．骨粗鬆症，骨折を契機にメポリズマブを導入し，ステロイドを中止され，MPO-ANCA 陰性化，好酸球数低下，症状改善を認め，良好に寛解を維持している．

一般演題 Ⅱ　呼吸器内科領域　重症喘息

座長：鈴木 康仁（福島県立医科大学 呼吸器内科学講座 講師）
　　片桐 紘（岩手医科大学 内科学講座 呼吸器内科分野 助教）

O2-3 喘息と COPD のオーバーラップ、IgG4 関連疾患に対してデュピルマブが有効であった一例

鹿内 俊介、大間々 広輝、藤本 亜美、千田 大誠、峯田 武典、八鍬 一博、菖蒲澤 大樹、片桐 紘、菅井 万優、堀井 洋祐、内海 裕、秋山 真親、長島 広相、川田 一郎

岩手医科大学内科学講座呼吸器内科分野

症例は 71 歳男性．膠原病の家族歴はない．X － 5 年より息切れがあり，CT で肺気腫がみられ，アトピー素因も有したことから，喘息と COPD のオーバーラップを考えた．その後，唾液腺腫大，右肺腫瘤が出現し，生検で IgG4 関連唾液腺炎，IgG4 関連呼吸器疾患と診断した．吸入薬，プレドニゾロンを開始後もコントロールは不良であったがデュピルマブを開始してコントロールは良好となった．IgG4 関連疾患におけるデュピルマブの考察を含めて報告する．

O2-4 重症喘息における Tezepelumab の治療反応性と TSLP 遺伝子多型の関連

豊島 かおる [1)]、中込 一之 [2)]、宮坂 智充 [1,3,4)]、宍戸 史 [1)]、廣田 朝光 [5)]、片桐 紘 [6)]、長島 広相 [6)]、浅井 一久 [7)]、入江 美聡 [8)]、玉利 真由美 [5)]、加畑 宏樹 [8)]、佐々木 雅史 [1)]、有川 智博 [1)]、杣 知行 [2)]、福永 興壱 [8)]、永田 真 [2)]、大野 勲 [1,3)]、中村 豊 [1,3)]

1）東北医科薬科大学医学部医学教育推進センター、2）埼玉医科大学医学部呼吸器内科、
3）東北医科薬科大学病院アレルギーセンター、
4）Department of Medicine, Faculty of Health Sciences, McMaster University、
5）東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター分子遺伝学研究部、6）岩手医科大学内科学講座呼吸器内科分野、
7）大阪公立大学大学院医学研究科呼吸器内科学、8）慶應義塾大学医学部呼吸器内科

Tezepelumab（TEZ）の治療反応性を予測するバイオマーカーは十分に確立されていない．本研究では TEZ 使用中の重症喘息患者 31 例を対象に，TSLP 遺伝子近傍の 8SNP を解析し，治療反応性との関連を検討した．増悪頻度および経口ステロイド用量の変化から 24 例を responder，7 例を non-responder とした．rs1837253 の C アリル数は治療反応性と有意に関連し（p=0.028），TEZ の治療反応性を予測するバイオマーカーとなる可能性が示唆された．

一般演題Ⅲ　基礎

座長：山田 充啓（東北大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学分野 准教授）
　　竹田 正秀（秋田大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座 准教授）

O3-1 Single-cell RNA-seq 解析を用いた鼻茸における TSLP 産生細胞の同定

中居 暉、岡部 悠生、倉増 太郎、大友 梓、鈴木 利央登、光根 歩、安達 哲也、吉村 成央、玉田 勉

東北医科薬科大学病院　呼吸器内科

鼻茸における TSLP 産生細胞を明らかにするため，14 症例の鼻茸組織から取得した single-cell RNA-seq データを解析した．TSLP は KRT5 ＋ TP63 ＋を特徴とする Basal epithelial cell と KRT17 ＋を特徴とする Basaloid cell で高頻度に認めた．特定の上皮サブタイプが TSLP 産生源として重要でありその役割について考察する．

O3-2 Gnetin C の Th2 免疫応答抑制およびステロイドスペアリング効果の分子機序

大河原 雄一[1)]、河野 資[2)]、蓬田 伸[3)]、髙橋 知子[2)]、渡邉 一弘[4)]

1）東北医科薬科大学医学部内科学第一（呼吸器内科）、2）東北医科薬科大学薬学部病態生理学、
3）東北医科薬科大学薬学部薬物治療学、4）東北医科薬科大学薬学部医薬合成化学

レスベラトロール二量体である Gnetin C の抗アレルギー作用とステロイドスペアリング効果を，抗原感作マウス脾細胞を用いて検討した．本剤（10μM）は抗原刺激後の Th2 サイトカイン（IL-4/IL-5）産生を有意に抑制し，同効果も示した．RNA-seq 解析の結果，本剤は NF-κB 阻害のみならず，PGI2 合成酵素やデコリンなどの発現誘導を介して両作用を発揮する分子機序が示唆された．

一般演題Ⅲ　基礎

座長：山田 充啓（東北大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学分野 准教授）
　　竹田 正秀（秋田大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座 准教授）

O3-3 グリア細胞由来神経栄養因子（GDNF）シグナルを介した肺神経内分泌細胞過形成と喘息病態の関連

佐藤 響希、池 英莉奈、河野 資、岡田 優、高橋 知子

東北医科薬科大学薬学部病態生理学教室

肺神経内分泌細胞（PNEC）は喘息などで過形成し，病態増悪に関与する．本研究ではグリア細胞株由来神経栄養因子（GDNF）–RET シグナルに着目し , その制御機構を検討した．喘息モデルマウスでは肺 GDNF 発現が増加し，PNEC にその受容体である RET および GFR α -1 が発現した．RET 阻害により PNEC 過形成と ILC2 活性が抑制され，喘息症状が改善した．以上より，GDNF–RET シグナルは PNEC 過形成を介して喘息病態に関与する新たな治療標的となる可能性が示された．

O3-4 女性の喘息増悪における循環型記憶 Th2 細胞の役割

赤羽 美咲[1)]、豊島 かおる[1)]、宮坂 智充[1,2)]、宍戸 史[1)]、川上 佳織[3)]、田中 宏幸[4,5,6)]、関 政幸[7)]、有川 智博[1)]、佐々木 雅史[1)]、福與 なおみ[1)]、高柳 元明[3)]、大野 勲[1,2)]、中村 豊[1,2)]

1）東北医科薬科大学医学部医学教育推進センター、2）東北医科薬科大学病院アレルギーセンター、
3）東北医科薬科大学薬学部病態生理学、4）岐阜薬科大学免疫生物学、5）岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科、
6）岐阜大学高等研究院 One Medicine 創薬シーズ開発・育成研究教育拠点、7）東北医科薬科大学薬学部生化学

女性は男性に比し喘息が重症化しやすいが，その免疫学的機序は十分に解明されていない．ダニ抗原誘発喘息モデルを用いて解析した結果，メスでは循環型記憶 Th2 細胞の増加に伴い肺内好酸球性炎症が亢進し，エストロゲンとプロゲステロンがその増加に関与していた．特にエストロゲンは循環型記憶 Th2 細胞の増加を持続的に維持し，女性における喘息免疫応答の亢進に寄与する可能性が示唆された．

一般演題Ⅳ　呼吸器内科領域　様々な肺疾患

座長：井上 純人（山形大学医学部 医学教育学講座 教授）
　　森本 武史（青森県立中央病院 呼吸器内科 副部長）

O4-1 著明な好酸球浸潤を伴う粘液栓を呈したアレルギー性気管支肺アスペルギルス症（ABPA）の 1 例

鬮蒔 望、藤野 直也、山田 充啓、久慈 強、伊藤 辰徳、相澤 洋之、菊池 崇史、杉浦 久敏
東北大学病院呼吸器内科

喘息の 70 歳女性．咳嗽と末梢血好酸球増多を機に ABPA と診断されステロイドで粘液栓は改善した．気道内痰から A.fumigatus が検出された．粘液栓の病理で PAS 染色は陰性だが，著明な好酸球浸潤とシャルコーライデン結晶を認めた．既報では ABPA の粘液栓形成に好酸球性炎症と好酸球由来成分の関与が示されている．本症例の良好なステロイド反応性は粘液栓形成が菌体自体によるものではなく既報の病態を支持する．

O4-2 抗菌薬投与後に即時型薬物過敏反応を生じた急性好酸球性肺炎の一例

朝野 諒[1)]、玉田 勉[2)]、岡部 悠生[2)]
1）東北医科薬科大学医学部、2）東北医科薬科大学医学部 内科学第一（呼吸器内科）

患者は 76 歳男性．肺炎に対しセフトリアキソンおよびラスクフロキサシンを投与された数時間後，全身の膨疹と酸素化不良が出現し当科入院となった．精査により急性好酸球性肺炎（AEP）および即時型薬物過敏反応と診断した．ステロイド治療および原因抗菌薬の回避により速やかに改善し治癒退院となった．初回曝露における偽アレルギー機序が示唆される貴重な一例を経験した．

一般演題Ⅳ　呼吸器内科領域　様々な肺疾患

座長：井上 純人（山形大学医学部 医学教育学講座 教授）
　　森本 武史（青森県立中央病院 呼吸器内科 副部長）

O4-3 浸水被害との関連が考えられた過敏性肺炎の一例

佐藤 建人[1)]、花輪 翁有[2)]、中野 寛之[1)]、根本 貴子[1)]、西脇 道子[1)]、五十嵐 朗[1)]、井上 純人[3)]、渡辺 昌文[1)]

1）山形大学医学部附属病院第一内科、2）日本海総合病院呼吸器内科、
3）山形大学大学院医学系研究科医学専攻医学教育学講座

症例は 60 歳代男性．X 年 7 月に大雨で自宅が床下浸水し，その 1 か月後から咳嗽が出現した．両肺に浸潤影や網状影を認め，当院に紹介となった．無治療で陰影は自然に消退し，咳嗽も軽減した．しかし X ＋ 1 年 10 月頃から咳嗽および肺陰影の再燃を認めた．クライオ肺生検にて，リンパ球浸潤や肉芽腫を認め，非線維性過敏性肺炎と考えられた．また経過から，浸水被害に関連した抗原が原因と考えられた．

O4-4 夜間 HFNC と Tirzepatide を併用した、Ⅱ型呼吸不全を伴った肥満喘息の 1 例

三浦 桐子、森本 武史、小山 新太郎、鹿内 久崇、藤嶋 駿介、三浦 大、長谷川 幸裕

青森県立中央病院　呼吸器内科

67 歳，体重 97kgの白人（Caucasian）女性．難治性喘息で Dupilumab 併用．禁煙できず COPD 合併疑われ，在宅酸素療法と OCS 継続し糖尿病合併あり．年 1 回増悪で入院加療も要した．頭痛認め血液ガスで PCO2>60torr あり，夜間 HFNC と同時に Tirzepatide を導入した．1 か月後に敗血症，喘息増悪で入院，Ⅱ型呼吸不全あり NIPPV その後 HFNC で管理した．増悪治療と合わせて Tirzepatide も継続した．状態改善しリハビリ転院前の PCO2 は正常化を認めた．HFNC と Tirzepatide の併用が奏功した可能性あり，考察を加えて報告する．

一般演題Ⅳ　呼吸器内科領域　様々な肺疾患

座長：井上 純人（山形大学医学部 医学教育学講座 教授）
　　森本 武史（青森県立中央病院 呼吸器内科 副部長）

O4-5 肺 MAC 症の治療中に溶血性貧血を認めた一例

五島 哲[1)]、佐藤 一洋[1)]、御所野 麗奈[1)]、島田 健吾[1)]、泉谷 有可[1)]、坂本 祥[1)]、奥田 佑道[1)]、竹田 正秀[1)]、奈良 美保[2)]、中山 勝敏[1)]

1）秋田大学医学部附属病院 呼吸器内科学講座、2）秋田大学医学部附属病院 輸血細胞治療・移植再生医療センター

62 歳の女性．肺 MAC 症に対し CAM+RFP+EB による加療を開始した．投与開始から 3 か月後に T．Bil 上昇，ハプトグロビン低下，補体低下を伴う貧血を認めた．直接クームス試験は補体成分が陽性であり，RFP による薬剤性溶血性貧血が疑われた．同薬剤を中止し PSL 投与を開始したが，貧血は進行した．寒冷凝集素価の著明上昇，間接クームス試験で抗 HI 抗体が陽性であり，骨髄生検を施行し寒冷凝集素症の診断に至った．

協賛企業名・各社御芳名

このたびは、第８回日本アレルギー学会東北地方会の開催にあたり、下記の企業・団体の皆様からご支援を承りました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

● 共　　催 ●

アストラゼネカ株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
サノフィ株式会社
リジェネロン・ジャパン株式会社

● 広　　告 ●

インスメッド合同会社
MSD 株式会社
杏林製薬株式会社
帝人ヘルスケア株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
日本メガケア株式会社
丸木医科器械株式会社
Meiji Seika ファルマ株式会社

（五十音順）



アミノグリコシド系抗生物質製剤

薬価基準収載

アリケイス®吸入液590mg

ARIKAYCE®　　**アミカシン硫酸塩 吸入用製剤**

処方箋医薬品注)　　注)注意ー医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元
インスメッド合同会社
東京都千代田区永田町二丁目10番3号
東急キャピトルタワー13階
https://insmed.jp

〔文献請求先及び問い合わせ先〕
メディカルインフォメーションセンター
電話：0120-118808

当社からの情報提供をご希望の方は
こちらよりお申し込みください。▶

Insmed®, Insmed logo, インスメッド®, ARIKAYCE® and アリケイス® are registered trademarks of Insmed Incorporated.

2024年10月作成
PP-ARIK-JP-01180
© 2024 Insmed GK. All Rights Reserved.
© 2024 PARI Pharma GmbH. All Rights Reserved.

TEIJIN

患者さんのQuality of Lifeの向上が私たちの理念です。

健保適用

● 在宅酸素療法



酸素濃縮装置(テレメトリー式パルスオキシメータ受信機)

ハイサンソi®

販売名:ハイサンソi
認証番号:230ADBZX00107000

● 在宅酸素療法



酸素濃縮装置(呼吸同調式レギュレータ、テレメトリー式パルスオキシメータ受信機)

ハイサンソ ポータブル® αⅢ

販売名:ハイサンソポータブルαⅢ
認証番号:304ADBZX00043000

● NPPV療法



汎用人工呼吸器(二相式気道陽圧ユニット)

NIPネーザル®V-E(タイプ名)

販売名:NIPネーザルV
承認番号:22300BZX00433000

● ハイフローセラピー



加熱式加湿器

F&P AIRVO™2

販売名:フロージェネレーターAirvo
承認番号:22500BZX00417000

F&P myAIRVO™2

販売名:フロージェネレーターmyAirvo
承認番号:22800BZX00186000

● ASV療法



二相式気道陽圧ユニット

AirCurve(エアーヴ・カーヴ)TJ

販売名:レスメドAirCurve 10 CS-A TJ
承認番号:22900BZI00028000

● CPAP療法



持続的自動気道陽圧ユニット
(持続的気道陽圧ユニット、加熱式加湿器)

スリープメイト®11

販売名:スリープメイト 11
承認番号:30300BZX00343A01

医療関係者向けサイト **TEIJIN Medical Web**に、
医療機器に関する情報を掲載しています。

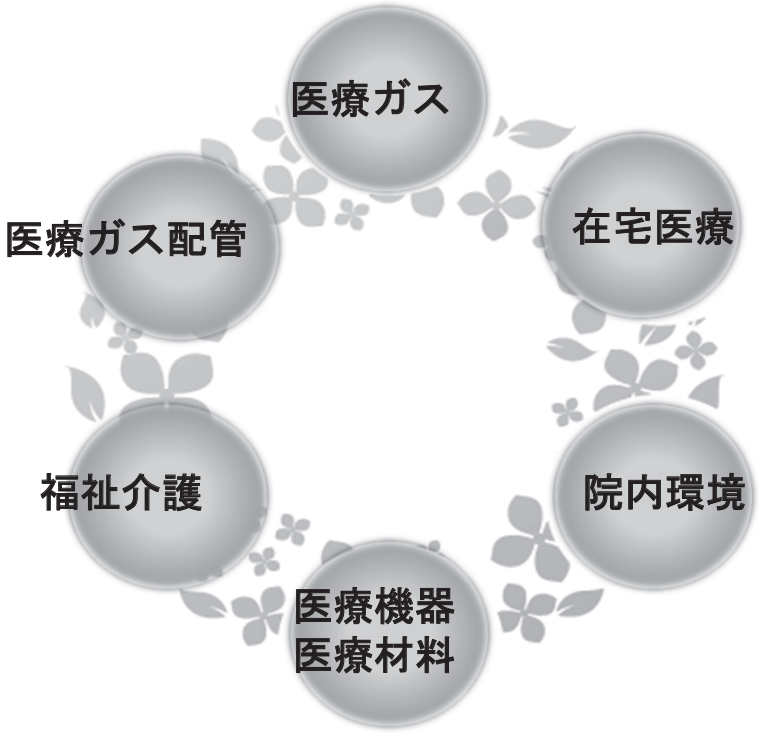
帝人ファーマ 医療関係者 検索

ご使用前に電子添文および取扱説明書をよく読み、
正しくお使いください。

帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

QOL001-TB-2401-2
2024年1月作成

医療をサポートし、
尊い命をつなぐ



病院・医療機関で必要とされる医療ガスやそれに関連する機器・設備の設計施工から保守、医療機器・医療材料の販売、介護・福祉用品の販売・レンタルを通じ医療・福祉の分野で幅広く製品・サービスを提供しています。
今後の高齢化社会において注目される在宅医療分野でも、患者様とご家族が安心していただけるよう、
安全で安定したサービスにより医療をサポートしてまいります。

【医療用酸素濃縮供給装置】
オキシウェル5B+



ボンベ自動切替機能や火災検知機能はそのままに、新しく最大流量制限機能やうるおい加湿機能も搭載しました。オプションで遠隔モニタリングにも対応しています。

【バルブ一体型酸素流量調整器】
グッドラン



バルブ一体型グッドランは操作性・安全性が向上。さらに、小型・軽量のグッドランセーバーで、軽さと持ち時間の延長を実現しました。

【ポータブル呼気NO濃度測定器】
NObreath®V2



製造販売元：原田産業

喘息などの好酸球性炎症のモニタリングにご使用いただける呼気一酸化窒素濃度測定器です。

日本メガケア株式会社

■本社　東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡ5F　TEL03-5914-3012 FAX03-5914-3013

URL：http://www.megacare.co.jp

■ 東京支店 TEL03-3558-5040 FAX03-3558-5041
城東営業所 TEL03-5628-2011 FAX03-5628-3712
西東京営業所 TEL042-648-9351 FAX042-648-9352

■ 北関東支店 TEL048-720-0171 FAX048-721-8570
小山営業所 TEL0285-29-8500 FAX0285-29-8499
足利出張所 TEL0284-70-6555 FAX0284-70-6557

■ 南関東支店 TEL046-237-3671 FAX046-238-3205
川崎営業所 TEL044-277-7024 FAX044-277-7046

■ 東関東支店 TEL043-284-0301 FAX043-284-4149
柏営業所 TEL04-7137-2331 FAX04-7133-6621
館山営業所 TEL0470-22-6811 FAX0470-23-7491
水戸営業所 TEL029-284-5011 FAX029-275-0558

■ 大阪営業所 TEL0725-22-8634 FAX0725-22-8635
■ 仙台営業所 TEL022-767-9960 FAX022-767-9961
■ 川越営業部 TEL049-277-7400 FAX049-227-7339
上尾営業所 TEL048-721-1113 FAX048-721-1114

最先端のサイエンスを駆使して、
世界中の人々の生命を救い、
生活を改善すること。

このパーパスの実現に向けて、
MSDは全力で取り組んでいます。



MSD

Kyorin



薬価基準収載

選択的P2X3受容体拮抗薬/咳嗽治療薬

リフヌア®錠45mg

LYFNUA® Tablets 45mg

ゲーファピキサントクエン酸塩錠

処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

発売元
杏林製薬株式会社
東京都千代田区大手町一丁目3番7号
〈文献請求先及び問い合わせ先：くすり情報センター〉
東京都新宿区左門町20番地

製造販売元
ＭＳＤ株式会社
東京都千代田区九段北1-13-12

作成年月:2024.5



PDE4B阻害剤／抗線維化・免疫調整剤

劇薬 処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること 薬価基準収載

ジャスケイド® 錠 9mg 18mg

新発売

ネランドミラスト製剤　JASCAYD® Tablets 9mg・18mg

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

製造販売元
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
東京都品川区大崎2丁目1番1号

PC

2026年7月作成

MARUKIは、
最新の情報と質の高いサービスの提供を通して
地域医療の発展に貢献して参ります

MARUKI

丸木医科器械株式会社
Maruki Medical Systems Inc.

■仙台支店
〒981-1105 宮城県仙台市太白区西中田3-20-7
TEL 022-242-6001（代）

■水沢営業所
〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字竜神2-7
TEL 0197-25-7703（代）

■マルプロジック北東北
〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第1地割279番地 プロロジスパーク盛岡3F
TEL 050-3664-9756（代）

■山形支店
〒990-2338 山形県山形市蔵王松ヶ丘2-2-22
TEL 023-695-3000（代）

■八戸営業所
〒031-0071 青森県八戸市沼館2-4-1
TEL 0178-73-5565（代）

■マルプロジック南東北
〒989-2422 宮城県岩沼市空港南3-2-35 プロロジスパーク岩沼1階
TEL 050-3499-8616（代）

■岩手支店
〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第五地割313番
TEL 019-698-1567（代）

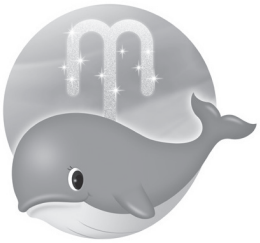
■気仙沼出張所
〒988-0053 宮城県気仙沼市田中前3丁目6-8 メイプルハイツB号
FAX 0226-22-0880



経口用セフェム系抗生物質製剤 薬価基準収載
処方箋医薬品注)
日本薬局方 セフジトレン ピボキシル錠

メイアクトMS®錠100mg

MEIACT MS® TABLETS 100mg



経口用セフェム系抗生物質製剤 薬価基準収載
処方箋医薬品注)
日本薬局方 セフジトレン ピボキシル細粒

メイアクトMS®小児用細粒10%

MEIACT MS® FINE GRANULES 10%



経口用カルバペネム系抗生物質製剤 薬価基準収載
処方箋医薬品注)
テビペネム ピボキシル細粒

オラペネム®小児用細粒10%

ORAPENEM® FINE GRANULES 10% FOR PEDIATRIC

健康にアイデアを
meiji

注意－医師等の処方箋により使用すること
※「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」など、詳細は電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元［資料請求先］
Meiji Seika ファルマ株式会社
東京都中央区京橋2-4-16
https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/
くすり相談室 電話(0120)093-396、(03)3273-3539

作成：2026.5



第8回日本アレルギー学会東北地方会
プログラム・抄録集

発行　2026年11月

【地方会事務局】
東北医科薬科大学呼吸器内科
〒983-8536 仙台市宮城野区福室1-15-1